



## お客様との協力で設立・運営する 基金を通じて子どもたちを支援

### 山形県 株式会社マルキ

「いじめ撲滅企画ちびっこプロレス  
教室&ステージ並びにチャリティー  
にっこ祭り2017G.W.及び児童養  
護施設への支援」事業



株式会社マルキ  
代表取締役会長  
井上 静夫さん



「マルキ子どもにっこ基金」の募金箱

### マルキ子どもにっこ基金を通じて 未来ある子どもたちを支援

1946年に山形市で創立された株式会社マルキは、現在、Zest6店舗から成るパーラー事業部とボウリング場・パティンテイングセンター・飲食店などから成るアミューズメント事業部の2部門を中心に事業を展開しているが、企業理念として、「お客様に愛され、信頼・安心感を提供できる企業」を目指し、「お客様に期待され、社会に貢献できる企業活動」に力を入れていることからわかるように、特に社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

県内の児童養護施設（山形学園、米沢市興望館、寒河江学園、新庄市双葉荘、鶴岡市七窪恩園など）への端玉景品（お菓子）募金をはじめ、子どもたちへのクリスマス募金、災害義援金への参加など、ホールを利用している遊技客と一体となったボランティア活動が主体だが、その他にも献血バスを呼び年2回の献血活動、県健康福祉部への協賛、警察署と協力しての交通安全や指名手配犯逮捕呼びかけCMのLEDビジョン放映など、様々な社会貢献活動を行っており、多方面から高い評価を得ている。

特に2008年2月にはお客様の協力を得ながら、未来ある子どもたちへの支援を中心に活動することを目的とした「マルキ子どもにっこ基金」を設立し、児童養護施設で暮らす子どもたちの支援、さらに国内外で子どもたちのために活動するNPO法人などの団体や国際機関（カンボジアでの学校設立、世界の子どもにワクチンを日本委員会、セー



「チャリティーにっこ祭り」を告知するポスター



多数の観客が集まったチャリティープロレス



児童養護施設へお菓子等を寄贈し活動を支援

ブ・ザ・チルドレンなど）への寄付などを行っている。

### いじめ撲滅のためのプロレスイベントと 県内の児童養護施設への継続支援

マルキでは、昨年4月29日、30日の両日、山形ファミリーボウル駐車場とゲームプラザ Be-in2階駐車場を会場に、「いじめ撲滅企画第6弾マルミアミューズメントチャリティーイベント2017G.W.『チャリティーにっこ祭り』を開催した。

このイベントは、プロレスを通じて子どもたちに勇気を与え、いじめ撲滅を訴えるとともに、マルキ子どもにっこ基金に対する協力への感謝を、地域の子どもの笑顔に変えて還元することを目的にしたもので、いじめ撲滅ちびっこプロレス教室、チャリティープロレス（プロレスリングZERO1、一般社団法人あなたのレスラーズ）、いじめ撲滅ショー（ミッチーチェン）、飲食・遊びブース・スタンプラリーなどを実施した。

2日間で約2,000名の来場者があったが、イベント開催にあたっては、のべ70名の従業員がボランティアとして参加し、会場の準備から実施までを担った。また、チラシの配布や参加呼びかけのため、関係団体を事前に訪問し、山形県、山形県青少年育成県民会議、山形市教育委員会の後援を得た。

また、2003年から継続している児童養護施設への支援活動では、端玉景品のお菓子をお客様に寄付してもらい、2ヵ月ごとに毎回3施設に届けたほか、施設の要望に応じて子どもたちのために使ってもらえるよう、クリスマスプレゼントとして各20万円を5施設へマルキ子どもにっこ基金から寄付した。この他にも、児童養護施設の一つ、山形学園が主催したイベントへ従業員のべ8名が運営ボランティアとして参加した。募金を通じてこうした活動を行うことで、児童養護施設に対する理解と認知度が向上しており、お客様を中心に支援の輪が広がっている。